

発行日 1994年 12月 1日
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300
FAX 054-636-6187

こおろぎ

「事実」を受け入れる

私たちの抱える問題の多くは、事実を受け入れていないことから始まっているように思います。10月にD. K. レイノルズ博士から「建設的な生き方」のご指導を受けましたが、今までいかに「自分が自分の頭の中だけで生きていて、現実を見ていなかったか」ということに気が付きました。せつかく話してくれている人の話しの最中に「要点はこれとこれだな」などと考え、その話しそのものを聞いていなかったり、また、たった今会って話していた人の服装もわからないほど目の前の事実を見ていませんでした。以前紹介した「内観」も過去の事実を、事実として客観的に受け入れることを目的としていると思います。自分なりに仕方がない理由があつてとった過去の行動であっても、その理由付けから離れて事実を見つめた時、「していただいたこと」「して返したこと」「ご迷惑をかけたこと」が事実として受け入れられてきます。

一つ例をあげると、去年のクリスマス・パーティーの時のことです。社員の河野（仮称）と杉本兄（仮称）が何か言い合っているのどうしたのかと聞いてみると、向こう側にいる二人の女性たちがこっちを見て二・三回笑ったそうで、それを見た河野は「きっと僕たちのことダサイとか言って馬鹿にしているんだよ」と言い、杉本は「ちがうよ。絶対僕たちに気があるんだよ」と意見が分かれてもめていたのです。結局、彼女たちは「ただこっちにいた友達に笑顔を送っていた」とのことだったのですが、それを聞いた河野は「絶対とほけてる。馬鹿にしているよ」と言い、杉本は「あの娘たち照れてるよ。絶対僕らに気がある」と言って、二人はまたもめ続けた。

事実は「二人の女性が笑っていた」だけなのに、彼女たちの言葉より、自分たちの意味付けを信じているよい例です。実際は、皆さんはこれほどまでひどくはないでしょうが、皆さんも自分の意味付けに振り回され、事実が見えなくなっていることはありませんか？

私自身つい最近まで、頭では「社員とお客様のおかげ」とか思いながらも、心の中では「自分の努力と能力」で「今ここ」にいて考えていたように思います。頭ではなく、事実をしっかり見ること、人にしてもらっているたくさんの方に気づくことなのでしょう。

一つこいようですが、もう一つ私の勘違いを書きますと、以前は親からこれまでにしてもらったことは、私だって自分の子供にして返すのだから「親がするのは当たり前」と考え、感謝する気持ちなどあまりありませんでした。しかし考えてみると、それは「Aさんから借りた借金を、Bさんに返すのだから、Aさんには返さなくていい」という、訳の分からない理論だったのです。皆さんが聞けばお笑いになるでしょうが、自分の勝手な思い込みのため、親からしてもらっていることも見逃していた始末です。

事実を見ないで生きるということは、目をつぶって車を運転するようなものです。事故が起こらない方が不思議だとは思いませんかやり方は下手かも知れませんが、してもらっている「事実」は「事実」としてしっかり受け止めていきましょう。うれしくても、悲しくても、私たちは「事実」の中で生きていくしかないのであります。

とてもシャイな杉井さんへ
お言葉ありがとうございました。研修から帰宅してみると、事実たちが私を呼んでいるのに気づきました。
昨日、きれいな服を着てすまして歩いていたら、つづれた空き缶が目に入り、考える前に手が拾っている自分がありました。
またお会いしましょう。

先日はアドバイスありがとうございました。結局、集まりが終わってから杉井さんにアドバイスされたように花束を買って帰り、女房に渡しました。今まで色々なものを買ってあげたことがありましたが、これまでで一番感激してくれたと思います。泣いた自分も何かそれだけで、とても幸せな気持ちになれました。これからも焦らずこつこつとやっていきたいと思っております。本当にありがとうございます。

評論家のあなたに

私は講演することが多いため、とても「偉い人」とお会いすることがよくあります。それは講演をしている立場の方よりも、講演を聞きに来ている方の中に多いように思います。

たとえば、この「こおろぎ」を読まれてみてどうですか？「つまらない」「考え方が間違っている」いろいろなご意見があると思います。それはそれでいいのです。ここに書かれていることや私が講演している内容が「絶対のものだ」と、私も思っていないから。ただ「そんな考えもあるんだ」と受け入れることができたなら、何かのときに役に立つかもしれません。

講演会に来て「この講師はまあまあだな」とか「あそこは違うよ」などと言っている人をときどき見かけます。さてそれでは問題です。「講演している人」と「その話を評価している人」どちらが「偉い人」でしょう。もしかしたら、この評価している人たちの「いい話し」は自分の考えと似た話ではないでしょうか？つまり、自分の正しさを証明してくれる話し。

私たちは偉く（正しく）なればなるほど、人の話が受け入れられなくなるのかも知れません。あなたは講演会で、自分の偉さを証明したいのですか？それとも新しい何かを得たいのですか？

新しい考えは試してみなかったら、いかどうかわからないと思います。評論家の「偉い人」にはわかるのでしょうか？

「複写はがき」を書いてみませんか

振り返ると子供の頃から多くの人と出会ってきたのに、今お付き合いしている人は、本当に限られた方ばかりになっています。それは心の中で「どうせ付き合うのなら、少しでも自分に得のある人」と自分の都合で選んでおきながら、その人に何も返すことをしなかった結果だと思えます。

私自身、毎朝5枚位づつ書いてきたおかげで、最近では、毎日5枚位のはがきをもらえるようになり、ポストをのぞくのが本当に楽しみになりました。現代には電話やワープロといった便利な道具がたくさんありますが、電話はどうしてもこちらの都合で使うことが多く、目的本位のような感じがします。またワープロのきれいな文字ではなく、書いた人の顔が思い浮かぶ手書きのはがきをもらおうと、よりほのぼのとあたたかい気持ちになってきます。いつももらうことばかりに意識はいきがちですが、足りないものを手に入れることよりも、今あるものを大切に努力が必要ではないでしょうか？

日記には、つい後悔や不満を書きがちになります。はがきは「ありがとう」を書く幸せがしの道具です。「上手に書こう」とせず、ただ「ありがとう」を返すために複写はがきを書いてみませんか？恥ずかしいのはあなただけ、相手はもらって嬉しいものです。もし、「その人が好きではない」という人でも、してもらった事実に対してお礼を書くのは当たり前なことではありませんか？問題はきれいに書けたかどうかより、相手に届いたかどうかですよ。コツは「今書くこと」です。

お問い合わせはお電話で...

日程	内容	主催者等
11/18 ~ 20	プロローグ	(西焼津セントラル)
11/25 (金)	女性セミナー	(あざれあ)
12/9 ~ 11	現状把握	(オリジン)
12/17 ~ 18	マネージメント・ゲーム	(東海土建)
12/22 (木)	X'masパーティー	(オリジン)

今月のお勧めは、人生を充実させるために「プロローグ」を、自社の現在地を知るために「現状把握」をおすすめします。貴方は、来年のために「今、何をしますか？」 X'masパーティーも是非ご参加下さい。
「新しい種を蒔かない限り、新しい芽は出ない」